

在来工法に比べ工期が約1/4に短縮されます。

(幅300の側溝で在来工法20m/日に対し、本工法は75m/日と73%の工期短縮となり、即日開放が可能です。)

ポイント

1



ポイント

2

ベースとなる側溝は落蓋式を標準としますが、既に床版を現場打ちコンクリートで改造済みの側溝にも対応出来ます。



ポイント

3

スチール透水蓋は、種類が豊富なため、種々の荷重条件に対応できます。(T2~T25)



ポイント

4

全線に亘り側溝全体で透水し、山形鋼間に幅5m/mのスリットを設けた構造は従来の30倍程度の透水能力があります。



ポイント

5

排水性舗装の導水管は隣接側溝壁を切除することで不要となります。

ポイント

6

熔融亜鉛メッキで表面処理をしているため、通常62年以上の防錆効果があります。(都市・工業地帯/亜鉛メッキ協会)

ポイント

7

荷姿は車道・溝幅30cmで20mの場合、長さ1m/高さ38cm/重さ500kgとコンパクトなため、広い置場を必要としません。また山と山が重なり合い滑りにくく安全です。



ポイント

8

一枚の重さは25kg前後と軽量であり、施工についても特殊な技能を必要とせず簡単です。

ポイント

9

スペースバーにより、蓋同上的間隔が保たれ、しかも施工中左右にずれることもありません。



ポイント

10

製品はフレキシブル構造を大きな特長とします。
舗装破壊の原因となる側溝の不陸によるガタつきを抑止します。

ポイント

11

繋ぎ部材はカッター等で切断出来るため、
長さの調節や段差にも簡単に対応出来ます。



ポイント

12

付属の単品アングルを使用すれば、
長さの調節やカーブにも対応でき、
しかも隙間を保護できるため、
合材がこぼれ落ちるようなこともありません。



ポイント

13

等辺山形鋼の天端高より基層高が高いため、ローラーが
直接触れることなく、十分な転圧が可能となります。

ポイント

14

逆三角形の形状に敷き込まれた合材は、転圧に対し狭い方へと
押しやられるため、規格値を十分に満足出来る締め固めが得られます。
(プレートコンパクタ3回の転圧で98%以上の締め固めが可能)

ポイント

15

側壁との隙間にAs合材の骨材が噛み込むと
ともに、基層により上部がしっかりと
覆われるため、透水蓋は側溝に確実にフィットし、
表層の安定した基盤となります。



ポイント

16

透水蓋は何度でも再利用出来ます。As合材と一体
となった透水蓋を引き剥がした後、電動ピック等を用いて簡単、綺麗に取り剥がすことが出来ます。



ポイント

17

スチール透水蓋の他に透水性舗装
の透水能力の持続対策として、
地形等の条件に応じ、いろいろな
排水補助具が用意出来ます。



ポイント

18

側溝上も車道・歩道と同じ舗装で覆われるため、
段差や継ぎ目がなく、人や車はもちろん、車イス、乳母車、高齢者の方も
安全で快適な通行が出来ます。